

福岡市議会議員(早良区)

とちぎ義博

議会レポート18号

2003年3月

発行者:福岡市議会議員 栃木義博

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-3-13-305

TEL.844-1371, 845-7669

E-mail:tochigi@bronze.ocn.ne.jp

ホームページ開設しました!

http://www11.ocn.ne.jp/~tochigi/



民主党



現

場

主

暮らしの現場
働く現場
現場の思いを政策に

栃木義博 福岡市議会議員(早良区)のプロフィール

- 【理念】 ●子どもたちに多大な借金を残さない健全な都市づくりをすすめます。
●思いっきり暮らし重視へ。安心・安全の都市づくりをすすめます。
●クルマに依存しないヒト中心の都市づくりをすすめます。

【議会】 所属党派「民主・市民クラブ」幹事長。第5常任委員会委員(土木・水道・下水道)、都市交通対策特別委員会委員、都市計画審議会委員など。

【略歴】 1953年(昭28)福岡県嘉穂郡稲葉町生まれ、49歳。県立稲葉高校卒、佐賀大学中退。西鉄社員(西鉄労組)。「福岡の都市づくりと交通を考える会」事務局長。
1999年(平11)4月、福岡市議会議員選挙初当選。福岡市早良区百道浜1丁目在住。会社勤めの妻とふたこの息子(高2)の4人家族。

【著書】 交通計画集成第11巻(1997年地域科学研究会)、新ふるさとバス白書(1998年技報堂出版)など *すべて共著

<福岡市、議会> 元市幹部ら告発へ! 「ケヤキと庭石」事件=福岡版「政治とカネ」

ゆ着の利権構造を断ち切れ!! 知る権利を守る議会改革、 政治と行政の透明な関係刷新で!!

とちぎ義博(福岡市議・早良区)が 徹底追及!



福岡市が筆頭株主を務める博多港開発(株)の志岐眞一・前社長(1月辞職、元市助役)が、通常取引と比べて2倍も割高な取引を行い、4億円にもものぼる利益(税金)を元福岡市議とそのファミリー企業に横流しした疑いの持たれている「ケヤキと庭石」事件について、市議会で真相究明にむけて、とちぎ義博(福岡市議・早良区)が徹底追及しました。【発言趣旨参照】

疑惑の渦中にある元市議は、市議選への立候補に意欲を見せているとも言われており、「有権者の良識への挑戦」だと、厳しい批判が沸き起こっています。わたしは、「政治とカネ」の政・官・業ゆ着の利権構造を断ち切るために、市民の知る権利を守る開かれた議会の改革、政治と行政の透明な関係刷新を進めていきます。

とちぎ義博の「ケヤキと庭石」事件をめぐる 議会での発言(趣旨)

【栃木義博】

市民のアイランドシティ整備事業に対する信頼を回復するために、志岐眞一社長の解任など博多港ふ頭株式会社(福岡市が筆頭株主)の人事刷新を断行すべきだ。(2月14日 本会議代表質疑)

【山崎市長】

博多港の振興を進める観点から、市民の理解を得られることが必要であり、議会の審議や今後の調査、同社の株主や取締役会、あるいは本人の意向も踏まえながら対応する。(2/15 西日本新聞参照)

【志岐社長】

志岐社長をはじめ関係した元役員に対しては、現在調査中の特別監査の報告を待たずに、3月14日の百条委員会を受けて、20日に開かれる本会議の報告後、直ちに告発すべきだ。(3月6日 条例予算特別委総会質疑)

【酒井港湾局長】

議会も百条委員会で事実の解明に努めており、新たな事実も判明しつつある。委員会での資料なども活用して真相究明を進め、一定の事実関係が明らかになったものについては、関係者を告発する。



<校庭の芝生化><賑わいの商店街づくり>実現を迫る!!

◆3月6日 条例予算特別委員会総会質疑

とちぎ義博が、つぎの4年間(2期目)で取り組む「暮らしの課題」のうち、<校庭の芝生化>と<賑わいの商店街づくり>について、3月6日の条例予算特別委員会総会質疑で、取り組みの実現を迫りました。

校庭の芝生化、実現に大きく踏み出す!

「意欲と熱意のある学校を募集」
とちぎ義博の質問に、教育長が言明!

【栃木義博】

新聞報道で「希望があれば補正予算を組んでも対応したい」と、市の積極的な姿勢をうかがうことができ、保護者や住民から芝生化の要望を受けたものとして意を強くしている。校庭の芝生化事業の進め方を聞きます。(2/5 西日本新聞参照)

【生田教育長】

校庭の芝生化は、子どもたちがケガを気にせず、思いきり体を動かせることや、精神的安定にもプラスの影響を与えるなどの効用があるといわれている反面、養生期間中の校庭の使用制限や除草、散水など、維持管理上の問題があり、こうした諸課題に適切に対応していくには学校関係者やこれを支える地域の方々のご協力が必要不可欠である。

平成15年度では、こうした諸課題に取り組んでもらえる意欲と熱意のある学校を募集するなどして、試行の形で数校を選定し、校庭の一部の芝生化に取り組む。

地域と連携し開かれた学校づくりのために

【栃木義博】

校庭の芝生化事業を地域の自治力向上の稽古場に見立てて、肩に力を入れずに前向きに、プラス思考で取り組んで欲しい。他都市の取り組み事例を報告してください。

【生田教育長】

神戸市、京都市の小学校では、芝張りにはNPO法人が行い、その維持管理はNPO法人を含む地域が取り組んでいる。東京都杉並区の小学校では、芝張りは教育委員会が行い、その維持管理は地域住民が中心となった運営委員会が取り組んでいる例がある。いずれも地域の方々の熱意と協力で取り組まれていると聞く。福岡市においても、これら先駆的な他都市の例などを参考にしながら、地域と連携し開かれた学校づくりや地域における自治の力の向上に資するような形で校庭の芝生化に取り組む。

安全に遊び 地域で管理

校庭を芝生に

福岡市、新年度から

希望校募集 “自治力”アップも狙う

2/5 西日本新聞



▲百道浜小学校

とちぎ義博(福岡市議会議員・早良区)が 地域の皆さんとともに暮らしの課題を解決します!

① 暮らしの賑わい

レンタサイクル(貸し自転車)、買物カート・車椅子の貸出し制度の導入や、空き店舗を利用したコミュニティサロン(休憩・交流施設)、子育て主婦のための託児施設の整備、車の乗り入れ制限などにより住民や買い物客を大切にすることで、副都心(早良区地域中心の)西新・高取・藤崎地区の「安心して買物を楽しめる」、「地域とともに生きる」賑わいの商店街づくりを応援します。

② 交流まちづくり

バス交通網の充実やレンタサイクルなど自転車の多様な利用、歩行者道路ネットワークの整備など暮らしの交通を重視することで、西新・高取・藤崎地区(商店街)と百道地区、百道浜地区(シーサイドももち)を結ぶ人びとの交流を促進させて一体的なまちづくりを振興します。

③ 交通の利便向上

高速鉄道3号線とともに、都市高速道路5号線の全線開通(月限~福重、2006年春予定)で、「市内循環高速バス交通網」を実現させて、早良区中部地区(野芥・賀茂・次郎丸)以南にお住まいの皆さんの通勤・通学の利便性を向上させます。

④ 高齢者福祉と人権救済

ひとつの小学校区にひとつの特別養護老人ホームや老人保健施設などの高齢者福祉施設を配置して、住み慣れた地域で一生を過ごすことのできる安心の社会基盤づくりを提案、実現をめざします。人権侵害の救済窓口の設置など人権・同和行政の新たな施策展開をすすめます。

⑤ 地域コミュニティ

地域の皆さんの協力・協働で、小・中学校に若い芝生の校庭(グラウンド)を実験導入します。子どもたち自身や住民とNPOが芝生を養生し管理する地域力で支えられ、地域に開かれた学校づくりをすすめます。

“政治とカネ”政・官・業 癒着構造の刷新を 早良区から!

早良区
市議会議員
とちぎ義博
と
早良区から県政へ
いえはら松夫



▲県政に挑戦する いえはら松夫さん

◆いえはら松夫の歩み◆1955年2月16日生まれ。福岡県大野城市立大野小学校、大野中学校を経て、県立福岡工業高等学校に進学。卒業後、民間企業で3年間勤務し、1976年、県庁に就職。県税事務所、福祉事務所など暮らしを支える根幹の分野にたずさわる。2002年5月、福岡県庁を退職。現在、民主党福岡県第3区総支部副代表。早良7丁目(陽光台)在住。家族は妻、長男(大学2年)、長女(高校2年)と愛犬タロー。好きなスポーツは中学時代にはじめた卓球。

商店街の賑わい対策

空き店舗を活用した子育て支援や地域と連携した地産地消を応援!

【栃木義博】

空き店舗対策では、商店街の地域コミュニティを育てる新たな役割に着目して、交流サロンや託児所の設置、レンタサイクル(貸し自転車)制度を取り入れるなど、校区自治会や町内会、NPOなども加えた賑わいの商店街づくりの取り組みが必要だと思うが、福岡市の考え方を聞きます。

【高田経済振興局長】

商店街は住みよいまちづくりを進めていくうえで、今後ますます重要な役割を果たしていく。地域住民の暮らしに密着した商店街へと活性化していくことが必要で、コミュニティ活動を進めるNPOなど多様な団体と連携しながら、空き店舗を活用した子育て支援や、地域と連携した地産地消など、商店街による様々な取り組みを支援していく。



▲西新商店街